

真の建・役・者へ



TEAM-Z

工種・職種紹介パンフレット

前友会
前田建設工業協力会

TEAM-Zの前友会

それは未来へ向けた 挑戦の歴史

東洋No.1のダム、世界No.1の海底トンネル、国内No.1の高層マンション…幾多の「No.1」を成し遂げてきました。

私たちはこれまでの歴史を継承し乗り越え、新たな「No.1」への挑戦をし続けます。



恐竜博物館 福井県



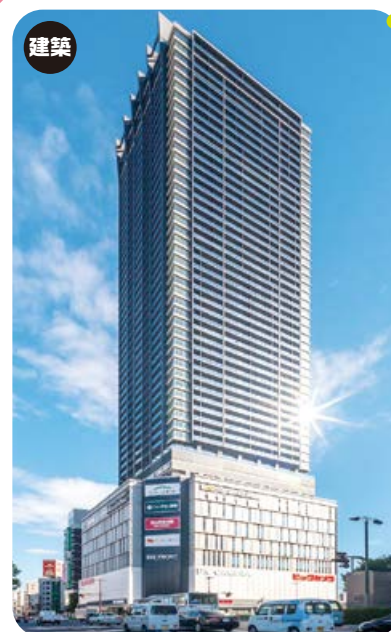
宇奈月ダム 富山県



新名神高速道路(宝塚SA~切畑トンネル) 兵庫県



天神ビジネスセンター 福岡県



BIG FRONT ひろしま 広島県広島市



ハレクラニ沖縄 沖縄県



五台山トンネル 高知県



青函トンネル(吉岡工区) 北海道松前郡福島町



大槌町町づくり造成 岩手県大槌町



宇都宮駅東口地区整備事業コンベンション施設
(施工中~2022.10) 栃木県



酒々井プレミアム・アウトレット新築工事
千葉県



愛知県新体育館(設計中~2025.3) 愛知県



建築物・土木構造物をつくりあげる、
さまざまなプロフェッショナルの技術。
それらの技術を詳しく、そこで働く現場の声を伝えます。



TEAM-Z 実績・事例

<https://www.maeda.co.jp/works/>



TEAM-Zの前友会が携わった 代表的な建築物・土木構造物

「前友会」は、2021年現在全国12支部561社で構成する、
前田建設工業の厳しい入会基準をクリアした協会の組織です。
前田建設と一緒に工事を行う協会の会社は、「TEAM-Z」としてさまざまな現場で活躍しています。

INFRONEER
Holdings Inc.
Challenge the status quo

前田建設工業株式会社
前田道路株式会社
株式会社前田製作所
2021年10月1日、前田建設・前田道路・前田製作所は
インフロンティアホールディングスとして経営統合いたしました。

構造物基礎

道路や鉄道、港湾といった社会インフラの構造物である橋梁、岸壁、鉄塔など、建造物の土台をつくる仕事が基礎工事業です。しっかりとした土台をつくるためには、コンクリートや鋼管の杭を、専用の大型重機を使って地中に確実に設置する必要があります。



杭打機オペレーター

巨大な機械を自在に操りながら建造物を支える杭を打つ



有限会社オオブ工業
1999年入社 / 愛知県名古屋市出身
上野 真一

機械の力とチームワークで

ももとは家業の水道工事業を手伝っていた上野さんですが、技術を身につければ、スケールの大きな仕事ができ、収入も増える基礎工事業に魅力を感じ、この業界に入りました。現場作業で必要となる玉掛けや溶接、圧入技師の資格を取りながら、4年ほど下積みを経験し、晴れて杭打機オペレーターに。巨大な機械をリモコン操作で動かしながら、一緒に働く作業員たちを指示し、建造物を支える杭を確実に設置していくチームリーダーでもあります。

現在、上野さんが携わっているのは、茨城県を走る国道51号の神宮橋架け替え工事。新しい橋の橋脚をつくるために、サイレントバイラーと呼ばれる最新機種を使って、1本50mにも及ぶ巨大な杭を地中に圧入していきます。ベテランになった今でも、最初に杭を打つときは緊張してしまうとか。どんなに事前に地盤調査を行っても、図面上にはない障害物が出てくると、打ってみなければ、わからないこともあるからです。思うように地中に入っていないときはこれまでの経験を生かし、別の工法にチャレンジ。そうやって試行錯誤を繰り返し替えながら、自分の引き出しをたくさんつくって経験値を上げていくのだと話す上野さん。「それが自信につながり、誰もが難しいと思う現場を成功させれば喜びもひとしお。仕事のやりがいも大きいですね」。

一日のスケジュール

8:00 朝礼 | 8:30 作業開始 | 12:00 昼食 | 13:00 作業開始 | 16:00 明日の作業計画 | 17:00 作業終了



建設業界を目指す学生へのメッセージ

重機を動かすのは、本当に面白いし、カッコいい。経験値があり、技術力もあるオペレーターのことを、僕らは「スーパーオペレーター」と呼んでいます。ぜひ一緒に目指しましょう！

自宅のある名古屋から出張して茨城の現場に入っている上野さん。会社が現場近くにアパートを借りているので、通勤はラクチン。作業員は一人一部屋なので、プライベートの時間もしっかり確保されています。現場は土日祝日が休みなので、金曜の夜には自宅に帰り、家族サービスをするとか。働きやすい環境にも満足しています。

インフラ再生

どんな建設物も年月が経てば劣化します。一見、頑丈そうな道路やトンネル、橋梁、ダムなどの社会インフラもそうです。そのままにしておくと、崩れたり倒壊したりして人の命に関わるような事故を招きかねません。そこで今注目されているのがインフラ再生工事です。



現場監督

工期内に正確に、適切に、安全に工事が進むように段取りをつける

かつては3Kと呼ばれていた土木・建設業界も、働き方改革が進み、働きやすい環境に変わっています。週休2日で、休日には家族で旅行したり、ゴルフに出かけたり。プライベートも充実しています。

建設業界を目指す学生へのメッセージ

かつて前田建設工業に出向し、宮崎県延岡市の宇和田トンネル新設工事に携わった角さん。大規模工事を経験して大いに勉強になったといいます。とくに細かい部分まで徹底的にチェックする施工管理には学ぶべきところが多く、その後の仕事にも生かしているとか。こうした機会が得られたのも前友会ならではのメリットと感じています。



一日のスケジュール

8:00 朝礼、ラジオ体操 | 8:10 作業指示、KY活動 | 12:00 昼食 | 13:00 安全工程打ち合わせ | 16:50 作業終了前の片付け | 17:00 作業終了時の報告

地球の医者としてインフラを再生

「現場監督」とも呼ばれる現場管理の仕事は、工事現場の指揮・指導をすることです。実際に施工作業をするのではなく、現場が計画どおりに進むように入念に計画し、各作業への指示を出し、施工状況を確認します。事故や災害のないように指導する一方、作業員が気持ちよく仕事ができるように配慮。コミュニケーション力も問われる仕事です。

角さんが現場監督として携わっているのはインフラ再生工事のひとつ、九州自動車道の橋の耐震補強工事。生工事のひとつ、九州自動車道の橋の耐震補強工事。万一、大きな地震が発生しても橋が落ちてしまわないように、鹿児島市内に点在する8カ所の橋にそれぞれ鋼材ブラケットやチェーンを取り付けています。高速道路を通行させながら、定められた工期内にすべての工事を終わらせるには、ICT（情報通信技術）の活用が欠かせません。情報共有を行って、複数の現場を同時に動かします。

「人やモノの移動に必要な橋は、災害が発生した時には避難経路にもなる重要なもの。そんな社会に不可欠なインフラを健全な状態に保つ仕事に携われることに誇りとやりがいを感じています」と角さん。「地球の医者」として、インフラの再生に果敢に取り組んでいます。

シールドエ

シールド工
チームを組んで巨大マシンを操り、地下トンネルをつくる

海道建設株式会社
2011年入社／福島県会津市出身
秋山 仁

いきます。

シールド工事には想定外のことがつきもの。事前調査ではわからなかった固い岩が出てくることもあります。そんなときは掘削を中断して、岩を切り崩さなければなりません。だからこそ、大きなトラブルもなく順調に掘り進んだ日はうれしいと秋山さん。「1日に6mぐらい進めると、着実に目標に向かっていける手応えを感じます」とにつこり。この下水道が完成すれば、雨が降るたびに心配されていた市街地の浸水を防ぐことができるはず。災害に強いまちづくりを願う石巻の人たちのためにも、一日も早く完成させたいと思っています。

シールド工事は、原則、24時間体制で行われます。朝7時から作業を開始して15時まで行う昼勤と、夜19時から始めて早朝3時まで行う夜勤を1週間ごとに交代します。体力的に大変な面もあるため、定時で作業は終了。残業はほとんどありません。日曜日はしっかり体を休めて、翌日からまた頑張る。そんなサイクルが自然と身についていきます。

一日のスケジュール

一日のスケジュール

5:00 起床 | 5:15 朝食 | 6:00 現場到着、夜勤からの引き継ぎ | 6:50 朝礼 |
7:00 作業開始 (離れがスムーズな場合は昼食を食べないときも) | 15:00 作業終了 (昼食を食べたときは16:00終了) |
16:00 退社 | 17:00 帰宅、入浴 | 18:00 夕食 | 19:00 自由時間 | 22:00 就寝

土木

トンネル

私たちの生活基盤を支えるトンネルやダムなどの工事は、自然の中で行われることが多く、大型の重機やダイナマイトなども使用するため、安全や環境に十分に配慮しつつ行われています。

村松さんは、中途入社で北海道新幹線トンネル工事の現場管理の仕事を始めました。最初は実際にトンネルの中に入って初めて知ったこともたくさんあったといいます。「発破技士」、「火薬類取扱保安責任者甲種」の資格も取得し、作業をする人たちの持ち場をひとつひとつ実際に手を動かして覚えしました。長い工区内で同時に複数の工程の作業を行うため、遅れている作業がある場合は進んでいるところを一度止めなければならないこともあります。そういう時に「どうして?」と納得のいかない人もいますが、各持ち場の人たちと話し合い、調整を行います。苦労もありますが、段取りがうまくいった時はやりがいを感じるそうです。トンネル工事が完成するまであと4年。長い道のりですが、開通した時の喜びは大きなものになることでしょう。

現場監督

工程を把握した上で現場に指示を出し、チェックする

海道建設株式会社
2020年入社／北海道札幌市出身
村松 直弥

建設業界を目指す学生へのメッセージ

トンネル工事の長い工区の工程を把握し、技術的なことも実際に手を動かして学んだ上で指示を出します。そのため、覚えることもたくさんありますが、仕事の足跡を残せる喜びもひとしおです。

オフタイムはゴルフに行くことが多いという村松さん。宿舎の近くにはゴルフ練習場もあるのだとか。

土木

構造物躯体

基礎工事でしっかりつくられた土台の上に、密実なコンクリートで形成された土木構造物躯体が姿をあらわします。橋梁等の下部構造物躯体は、どんな地震や台風といった自然災害にも耐えうる性能を持っています。

中学生時代からものづくりに興味があり、地元で西日本豪雨災害を目の当たりにした経験から砂防ダムなど災害を防ぐための建設に関わりたと思っていてた平田さんは、高校では工業技術科の土木コースで学びました。入社後、笠岡湾に橋を渡すための橋脚、橋台をつくる仕事では、鉄筋・型枠・コンクリートなどの材料管理や、予算や人数調整、段取り、安全確認などを担当。仕事は現場での指示から事務所に戻ってからのデスクワークまで幅広く、高校時代に取得した小型車両系建設機械などの資格も役立っています。協力会社の人たちと共同作業で工事を進めていくことにやりがいを感じており、工期の調整がうまくいき、予定よりも数日早く工事が終わった時は達成感を味わったといいます。現在は先輩と一緒に現場管理をしていますが、将来は一人で任されるようになることが夢だそうです。

現場監督

協力会社の人たちの人員、材料、予算、工程などを管理

株式会社片山工務店
2021年入社／岡山県新見市出身
平田 隼都

建設業界を目指す学生へのメッセージ

ものづくりが好きで、元気な人に向いている職場です。いろいろな職種の人たちとの関わりがあることもこの仕事の魅力。仕事を通じて学ぶことも多く、さまざまな知識を身につけることができます。

アウトドア派で釣りやキャンプ、スノボなど多くの趣味を持つ平田さん。料理も得意で、釣ってきた魚も自分でさばくことができます。

多能工(土工)

現場でコンクリート打設をはじめとしたさまざまな作業を担当する仕事です。建築物をつくる際には必要不可欠な大切な職種です。中でも重要になるのが型枠内に生コンクリートを流し込むコンクリート打設。その他、仕事は多岐にわたるため、幅広い経験を積むことができます。

建設現場における縁の下の力持ち
日々得られる充実感が仕事の活力に

株式会社林工務店
2018年入社／大阪府出身
黒田 友理香

大切にしているのは向上心

「この仕事の魅力はコンクリートを打設して建物の要となる部分をカタチづけること、モノづくりに直接的に携わることができることです」と語る黒田さん。もともとはインターネット回線の施工やアンテナ取付けなど、出来上がった建物に付随する仕事をしていたが、もっと直接的に建物をつくる仕事に関わりたという思いが強くなり、女性では珍しい多能工の道を選びました。「最初は軽作業から始まり、徐々にステップアップしていきます。いわゆる3Kと言われる部分もありますが、大工さんがつくった型枠にコンクリートを打設し、後日、きれいに仕上がっているところを見ると、何とも言えない達成感があります」と語ります。今の仕事を続けられている秘訣はズバリ、仕事が好きだから。日々、自分の仕事でモノが出来上がっていく様子を目で確かめることができ、前回よりもいいものをつくりたいという向上心を大切に仕事に取り組んでいる様子。また、大きな現場はたくさんの仲間と一緒に仕事をするので、チームで創り上げていく一体感や喜びもやりがいにつながっているようです。



今の現場は女性が多いこともあり、お手洗いや更衣室なども完備され、とても働きやすい環境が整っているそうです。また、小学生と中学生、3人の男の子の母でもある黒田さん。帰宅後は夕食づくりはもちろんのこと、柔道をやっているお子さんの練習着の洗濯など、母業も多忙の様子。そんな黒田さんをサポートすべく、終業時間を16時に、給与を月給制にするなど会社の支援体制が整っていることもあり、子育てとの両立が成り立っているようです。

モノづくりに携わることができる達成感のある仕事です。やる気と向上心があれば、経験を積み仕事がステップアップする喜びも。しんどいこともあります。やりがいもあるのでぜひチャレンジを。

建設業界を目指す学生へのメッセージ

一日のスケジュール

- | | |
|-------|-------------------|
| 出勤前 | 3人のお弁当・朝食作り |
| 8:00 | 朝礼 |
| 8:20 | 作業開始 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 作業 |
| 16:00 | 作業終了・退社
買い物 |
| 18:30 | 帰宅 |
| 19:30 | 夕食/洗濯/掃除/子どもの世話など |



型 枠 大 工

磨いたかのように光沢を帯びた平滑な壁、建物を支える強靱な梁・柱、コンクリート建築物の要となる職種が型枠大工です。図面から建物を立体的にとらえ、コンクリートを形づくるための型枠を現場に組み立てます。型枠でコンクリート形状の善し悪しが決まってしまうため、豊富な経験と確かな技術に裏付けられた職人ワザには注目が集まります。

株式会社共栄工業
1980年代入社／青森県出身
上坂 登織 (写真中央)

2019年入社／千葉県出身
上坂 直也 (写真右)

2017年入社／千葉県出身
上坂 裕紀 (写真左)

日本を代表する建築物にも携われる
完成時の大きな達成感がやりがいに

力仕事というイメージがあるかもしれませんが、型枠大工は計算力など頭と手を使い仕事をします。会社には社員寮もあり、若い人も働きやすい環境。仕事仲間となり共に頑張りましょう！

建設業界を目指す学生へのメッセージ

2020東京オリンピック関連施設の施工も担当した上坂さん親子。チームでの作業が基本となる型枠大工は仲間との信頼関係を築きやすく、お互いに励まし、高め合う中で自分が成長しているという実感。完成した時の「やってよかった」「頑張ってたかった」という大きな達成感。そして、自分の仕事がレガシーとして残り、家族や友人に見せることができる満足感が魅力であり、やりがいと教えてくれました。



「仕事で大切なのは完成時のイメージづくり。これは現場を重ねるごとにわかるようになっていきます。若手には早く一人前になって欲しいと思っていますので、作業上での疑問は積極的に聞いて欲しいですね」と、30年以上の経験をもつ登織さん。現場では時に語気が強くなることもあるそうですが、それも怪我をさせたくない一心から。自分を思い応援してくれる先輩がいるのは、働く上で心強いものです。

日々、成長を実感できる

親子3人で仕事を行う上坂さん。もともと直也さんはテレビ番組の制作スタッフとして活躍、裕紀さんは舞台の仕事に関心をもっていました。しかし、登織さんが手掛けた建物を見たときの「どんなに大きく高い建築物も型枠大工の技術によりつくられる」という感動と驚きが忘れられず、自分も父のようにものづくりに携わりたいと型枠大工の道へ。学生時代にアルバイトとして仕事を手伝ったことはありましたが、職人としては初心者。そのため基礎から知識とスキルを培っていきました。「当時はハンマーもうまく使えず、アドバイスをもらいながら何十本も釘を打ち練習しました」と裕紀さん。直也さんも「最初は型枠をつくる展開図が暗号に見えました」と笑います。そんなふたりも実務経験を積み、型枠施工技能士を目指すまでに成長。資格取得にあたっては講習や試験で休んでも出勤扱いになるなど、会社のサポートも充実。さらに、クレーンに荷物を掛け外しする際に必要な玉掛け技能講習への参加など、型枠の仕事に限らず職人として幅を広げられる資格への支援もあるため、励みになるといいます。

とび工

建設現場に最初に入り、現場周辺に仮囲いを設置することから始まり、職人さんたちが安全かつ作業しやすいように足場を組み立てます。そして作業後にすべてを解体撤去するのがとび工の仕事です。現場にもよりますが、3~5人でひとつのチームをつくり、連携プレーで足場を組み立てていきます。現場を俯瞰し、作業に潜む危険を未然に察知・整備するとび工の仕事は、他職からも一目おかれ「現場の花形」ともいわれています。



奥武建設工業株式会社
2016年入社 / 福井県福井市出身
秋田 京介

建設はとびに始まり、とびに終わる とびがあつての現場を誇りに思う

高校時代は美容師になるのが夢でした。でも、父がとび工だったこともあって同じ道に。建設現場にはなくてはならない足場を組むのが私たちの仕事。今はとび工になってよかったと思っています。

建設業界を目指す学生へのメッセージ

実は、ジャングルジムも無理というほど高所が苦手だった秋田さん。とびの仕事始めた頃は怖かったのですが、やがて怖さよりも上がったときの刺激が勝るようになったといいます。自分で足場を組んで、少しずつ上がり、その先に見える広大な景色。鉄塔工事のときは地上180mの高さで、気温も地上とは違っていたとか。「もちろん、危険と隣り合わせなので、集中力が求められますが、とび工だからこそ体験できる世界があります」。

職長としてチームづくりに励む

高校卒業後、とび工になった秋田さんは19歳という若さで現場を指揮する職長に抜擢。しかし、自分よりも年長の人たちをどうまとめたらいのかわからず、それを学ぶために現在の会社に転職しました。ベテランのとび工が多く、北陸新幹線の新駅工事のようにスケールの大きな建設工事を数多く手掛けていたからです。とび工としての腕に自信があった秋田さんでしたが、入社してみると、井の中の蛙だったことを思い知らされました。そもそもとび工は、安全で作業効率のよい足場を組み立てるのが仕事。とくに新築工事の場合、建物の完成形をイメージしながら、作業の手順を考えていかなければなりません。当然、現場に出入りする職人さんたちの仕事の知識も必要になります。「とび工は体力も使うし、頭も使う。そして経験がものを言います。ここで職長になるには自分自身がレベルアップしなければと思いました」。

先輩に教えを請いながら奮闘すること2年、ついに念願の職長に。自分よりも経験値のあるとび工をとりまとめていくには、相手をリスペクトする心遣いが大事といいます。「とび工の仕事はチームワーク。『秋田が言うなら、やってやるか!』と思ってもらえるように、自分自身も腕を磨きながら、チームづくりに取り組んでいます」。



一日のスケジュール

- 7:15 現場に到着
- 8:00 朝礼
- 8:20 作業開始
- 12:00 昼食 (お弁当持参)
- 13:00 作業
(途中、適宜10~15分の休憩あり)
- 17:00 作業終了
- 17:30 打ち合わせ
- 19:00 帰宅



ボード工

建物の骨格である躯体ができたあとに、壁や天井の下地となる軽量鉄骨(LGS)が組まれます。そこに石膏ボードを張り付け、部屋としての空間をつくり出す職種がボード工です。内装工事の基礎となる作業であり、その仕上がりは最終仕上げの出来映えをも左右するため、留めつけるビス一本手は抜けません。ボード面は、完成後壁紙や塗装の下に隠れてしまいますが、人が快適に過ごせるスペースを自分の手で生み出すという魅力があります。

性別関係なく、自分の腕を認めてもらえる
美しい仕上げで空間づくりのプロフェッショナルに

株式会社東和
2015年入社／埼玉県出身
津田 萌

建設業界を目指す学生へのメッセージ

知識、力関係なく、やる気さえあれば大丈夫。仕事を覚えるたびに自分の成長を実感できます。手掛けた建物が、誰かの役に立っているという充実感も味わえますよ。

仕事が円滑に進むよう、常にコミュニケーションを心掛けているという津田さんのこだわりは、丁寧な仕事。ボードのゆがみは壁紙にも影響するため、スピード感をもちつつ細心の注意を払います。また、次の作業がやりやすいよう現場の片付けも怠りません。「腕力では男性に負けるかもしれないけど、仕上がりでは負けたくないです」。



一日のスケジュール

7:30	現場到着・ミーティング	13:00	作業
8:00	朝礼	15:00	休憩
8:30	作業開始	15:30	作業
10:00	休憩	17:30	作業終了
10:30	作業	19:00	帰宅
12:00	昼食		



知識ゼロからのスタート

「本当にやりがいがあるし、体を動かしているせいかストレスもないですよ。友達が働いている職場が、私が携わった建物だと知った時は、驚いたと同時にすごく嬉しかったですね」と笑顔で話す津田さん。入社時、建築の知識はゼロで道具の名前すらわからなかったそうですが、会社の施設で研修を受け、半年後に現場デビューを果たしました。「研修中は先輩がしっかり指導してくれたので、初めての現場は緊張したけど安心感がありました」。仕事では仕上がり第一。男女関係なく自分が手掛けた内容で認めてもらえることが、より美しい仕上がりを目指すためのモチベーション維持につながっているといいます。現在、内装仕上げ施工技能士2級を所持しており、1級取得に向けて腕を磨く津田さんの目標は職長になること。「打ち合わせから仕事に関わり、最初から最後まで自分の責任で現場を進める力をつけたいです。私はまだ予定がありませんが、うちの会社は産休制度もあり、人を育て、育てた人が長く働ける環境を整えているのも魅力です」。

塗装工

(内装・外装仕上)

経験を積むほど手応えを感じられる仕事
手掛けた建物が残るのがやりがい

塗装工とは、コンクリートや鉄、石膏ボードなどの素材にペンキを塗り、ビルなどを美しく装うとともに、長期にわたって快適な建物を維持する役割を担う職種です。新築と既存建物の改修があり、とくに改修塗装は施工方法や使用部材などの建築一般の知識が必要です。また、経験を積むと高所作業を伴う外壁塗装を任されるようになります。

株式会社第一興産
2008年入社／富山県魚津市出身
山本 伊織

自信と手応えを感じた駅舎の工事

山本さんは、塗装の仕事を始めて13年。掃除や片付けが中心の見習いからスタートし、下地の塗装から技術を学び、現在はひとつの現場のリーダー的役割を任されるようになりました。現在までに2級建築施工管理技士(仕上げ)、1級塗装技能士(建築塗装作業)、有機溶剤作業主任者、石綿作業主任者、登録建設塗装基幹技能者など、多くの資格を取得。資格取得は補助金制度もあり、会社が学校に通わせてくれるので、仕事との両立が可能です。「塗装はただペンキを塗るだけではなく、下地をつくって外壁、内壁をきれいにしていく仕事。塗料の種類、刷毛やローラーなど道具の種類も数多くあり、覚えることもたくさんあります。会社が前友会に所属していることで、駅などの大きな建築物に携わることができ、とてもやりがいがあります。新幹線・黒部宇奈月温泉駅の駅舎の塗装工事に関わった時は地域の代表的な建物の工事に携わることができた達成感を感じました。また、ひとつの現場でリーダーを任せてもらったときも嬉しかったですね」と話す山本さん。現場は和気あいあいとした雰囲気、毎日が充実しているそうです。工事が完了し、次の現場に移動するたびに新しい出会いがあることも、この仕事の魅力だと教えてくれました。



一日のスケジュール

7:30	現場到着	18:15	退社(車で帰宅)
	作業準備	18:30	帰宅
8:00	朝礼		すぐに子どもと入浴
8:30	作業開始	19:00	夕食
12:00	昼食	20:00	子どもと遊ぶ
13:00	作業		家族団らん
16:50	片付け	22:30	就寝
17:00	終業(定時)		
18:00	事務所へ戻り業務報告		

オフタイムは子どもと遊ぶのが楽しいという山本さん。スポーツも好きで、この仕事を始めたのも専務が中学時代のサッカー部の先輩だったことがきっかけでした。今でも休みの日にはサッカーや野球、ゴルフなどを楽しんでいます。でも、決して体育会系の職場ではなく、スポーツの経験がない人もいるし、元気な人もおとなしい人もいて、さまざまな人が楽しく働いているそうです。いろいろな人と仕事を通じてコミュニケーションがとれる楽しさもあるのだとか。

魅力は何と言っても自分が関わった建築物がずっと残ること。また、さまざまな現場や人と関わり、日々、仕事を通じて新しい発見や出会いがあることもやりがいにつながっています。

建設業界を目指す学生へのメッセージ



建築 外構

建築物周辺の景観をつくる工事

道路や駐車場・庭園の整備など、工事の終盤に行われます。

造園工とは、建築物の周辺や庭園、公園などの景観を良くし、緑あふれる環境をつくる仕事です。コンセプトづくりからデザイン、設計、植栽の種類や材料を決めることから始まり、それに基づいて施工をし、工事が終わった後も緑地の維持管理を行います。さまざまな植物に触れ、景観づくりに携わることで感性も磨かれていきます。

造園工

株式会社横山造園
2002年入社／北海道札幌市出身
春木 ことえ

景観を彩ることで建物の価値を高める
自然の中でのびのびと働けるのも魅力

建設業界を目指す学生へのメッセージ

造園業は人の生活に密着していて、公共性の高い仕事です。じっと座っているよりも体を動かすのが好きな人、自分の感性を仕事に生かしたい人、お待ちしております！

料理が趣味の春木さんのランチタイムはいつも自作のお弁当。ドライブやキャンプ、旅行も好きで、出かけた先で植物や庭、石の並べ方などを観察し、仕事に役立てたりもしています。また、造園施工管理技士、造園技能士などの資格も取得。資格を持っていると仕事の幅が増えます。気分を変えてカフェで勉強するなど工夫し、苦手科目も克服しました。「造園工としての自分のフィールドを広げるためにも、資格に挑戦することが大事」と話してくれました。



一日のスケジュール

- 7:30 出社
- 8:00 ミーティング
- 8:30 作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 作業
- 17:30 退社（定時に終わる場合）
- 18:30 帰宅



四季の変化を感じながら

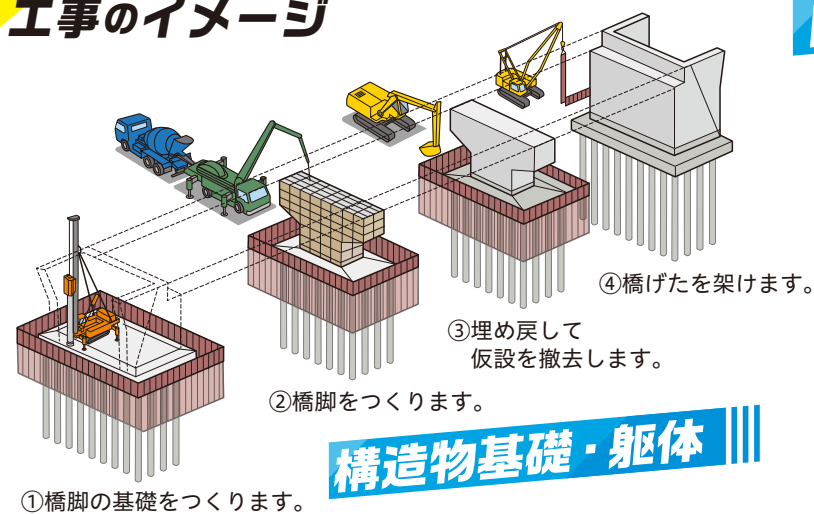
造園業に携わって19年という春木さん。女性初の現場職として入社し、最初は打ち合わせ先で「若い女性に現場のことなんかわからないだろう」と言われるなど苦労もありました。でも、ひとつひとつの現場で経験を積み、職人さんやお客様に対し、謙虚な気持ちで丁寧に接していくことにより、良い関係を築くことができるようになっていきました。そして、現在は係長となり、屋上緑化や公園のリフレッシュ工事など、難易度の高い現場を任されるようになりました。難しさを感じる一方で、観光スポットなどに仕事で行き、一般の人が入れないようなところで働ける楽しさもあるといいます。現場でお客様から喜んでもらえたり、造園に関わった公園で子どもたちが楽しく過ごしてくれたりするのを見るとやりがいを感じるそうです。自然の中で四季の変化を感じつつ、植物と触れ合いながら働いていくうちに感性が磨かれ、植物に触れたり、庭かれることもこの仕事の魅力です。植物に触れたり、庭のバランスを考えたりしながら、さまざまな感覚を使う仕事なので、創造する力や発想が豊かになります。こうして養われた感性を活かし、緑化を通じて人を癒やし、笑顔にすることのできる仕事です。

土木の仕事

山、森、川、海を相手にトンネルやダム、道路や橋などのインフラ(=社会基盤)をつくれます。
安全で便利な私たちの暮らしを支える仕事です。



工事のイメージ

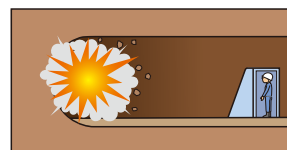


構造物基礎・躯体

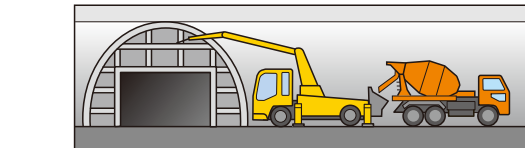
構造物の骨格となる基礎や躯体を作る工事です。

トンネル

①トンネル前面の岩にコンピュータで制御した機械で穴をあけます。

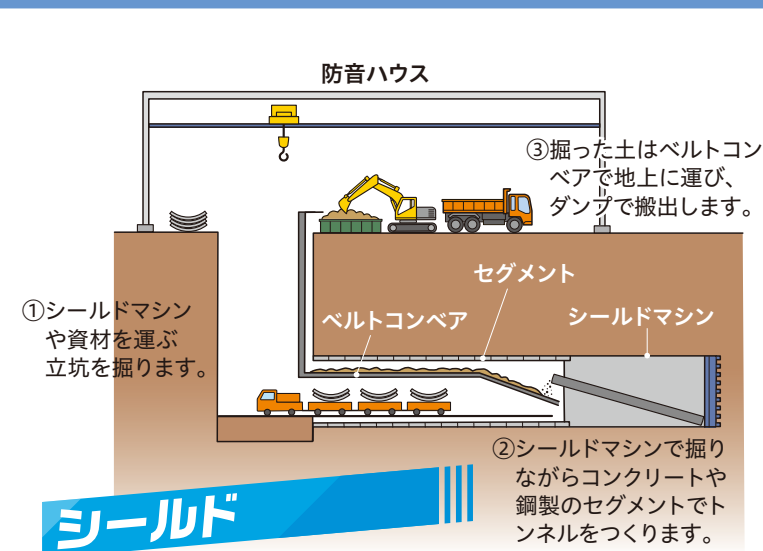


②火薬を使い岩を砕きます。③砕いた岩を搬出します。



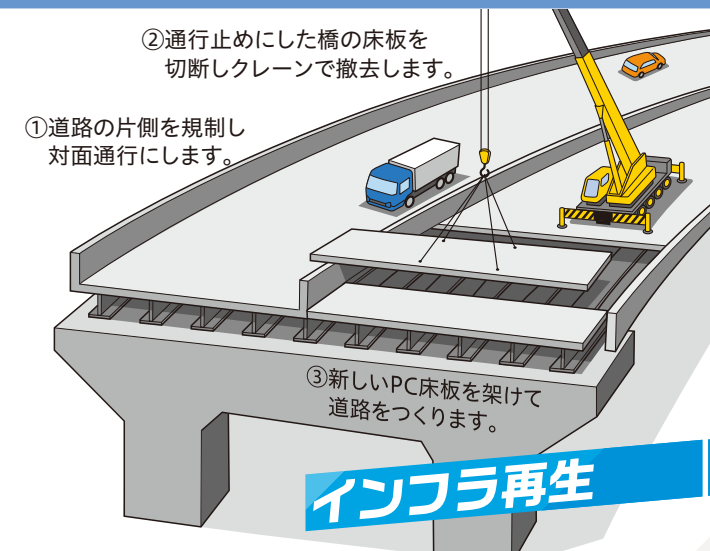
④コンクリートでトンネルを巻き立てます。

山の中に鉄道や道路のトンネルをつくる工事です。コンピュータを搭載した機械と測量機械で効率的に掘り進みます。



シールド

都市の中にシールドマシンでトンネルをつくる工事です。最先端技術により自動化され、きれいな環境の中で工事は進みます。トンネルは、鉄道や道路あるいは共同溝(ガス、電気、水道など)として利用されます。

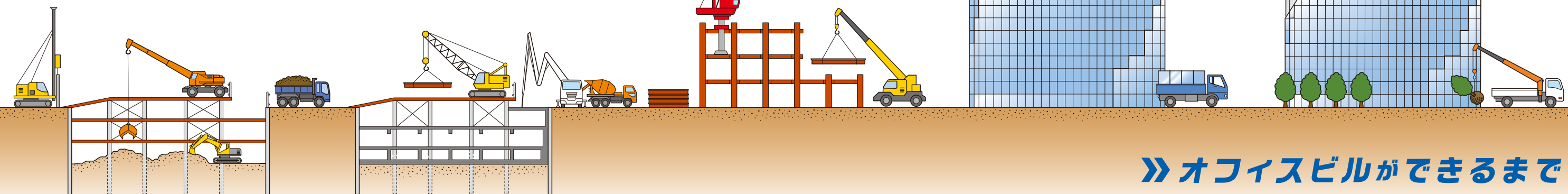


インフラ再生

老朽化が進む高速道路の床板や上下水道管の取替え、港湾や河川の護岸の補修など、地域の日常を支えるインフラを更新する工事です。

建築の仕事

ビルやマンション、工場、住宅、学校、病院、図書館、庁舎、スタジアム、ホールなどの
私たちが生活で利用するあらゆる建物をつくります。



》オフィスビルができるまで

①基礎工事(杭・山留・掘削)

建物を支える杭を打ち込み、地盤を掘削します。その際、地下工事中の地盤崩壊を防ぐため、仮設の壁(山留)を設置します。

②地下躯体工事

地盤面より下の建物地下部分に、鉄筋・コンクリートなどで上部の建物を支える基礎構造物をつくります。

③地上躯体工事

タワークレーンなどを使って鉄骨を組み立てたり、鉄筋・コンクリートで建物の骨格となる躯体をつくり

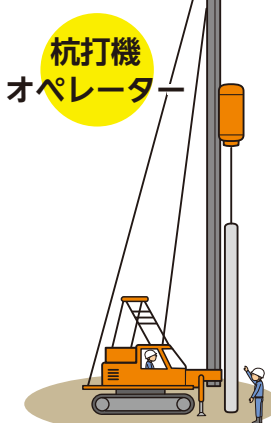
④外装・内装仕上げ工事

外部ではガラスなどで外観を仕上げて美観と耐久性向上を、内部では部屋の間仕切・建具・塗装などで居住性を高めます。

⑤設備・外構工事

電気・設備・給排水などの工事により、建物に命を吹き込みます。建物周囲は植栽や舗装で地域との調和を図ります。

職種に属する職種の例



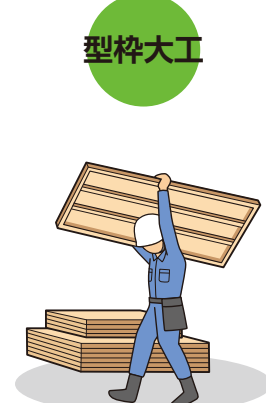
杭打機
オペレーター



バックホー
オペレーター



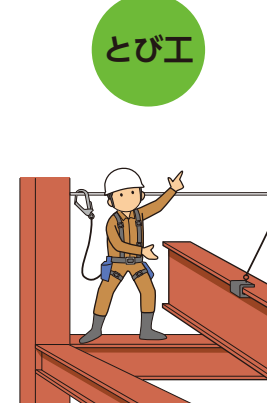
鉄筋工



型枠大工



コンクリート
土工



とび工



シール工
(外装)



ボード工
(内装)



配管工
(設備)



造園工

その他の職種

- クレーンオペレーター
- 杭・山留工
- 墨出し工
- ガードマン

- 圧接工
- コンクリート圧送工
- 鉄骨工
- デッキ工
- 溶接鍛冶工
- スタッダ工

- 耐火被覆工
- 組積工
- はつり工
- 左官工
- 防水工
- 鋼製建具工
- ガラス工

- 断熱工
- 板金工
- 造作大工
- LGS工
- 金属工
- 住設工
- タイル工
- 石工

- 木製建具工
- クロス工
- 塗装工
- 家具工
- 床工
- サイン工
- クリーニング工

- 電気
- ダクト工
- 保温工
- 機械設備工
- エレベーター工
- 舗装工



ズバリ! 建設業界で女性は働けますか?

前友会建設女性部会メンバーが
みんなのギモンに答えます!

建設業界といえば男性の世界と思われがちですが、それはいまや過去の話。
最近では現場で働く建設女子も増え、働く環境は大きく進化しています。
とはいえ、学生の皆さんには不安も多いのでは?
そこで、前友会建設女性部会に所属する5名の女性たちが

気になる10のギモンに答えます!



働く環境はそんなに変わったの? Q1 女性が働きやすい環境になってます!

確かに、以前はトイレが男女共用だったり、更衣室がなくてコンビニで着替えたりした場面も。でも今は違います!現場で働く女性が増えたので、トイレは男女別でキレイ(笑)。働く環境はどんどん改善されています。

Q2 建設業はやっぱり危険? 安全に対する意識はものすごく高い!

親御さんの中には「建設業は危険」とおっしゃる方も少なくないのですが、危険を伴う仕事だからこそ、安全に対する意識がひととき高い!誰もが安全に働けるように、さまざまな法的基準や規制もより厳しくなっています。

Q3 なぜ建設業界に?

大きなものづくりがしたかったから!

実家が建設会社だったというのがありますが、実際にダムや完成現場に行くと、スケールの大きさに驚いたことがきっかけかな。「大きなものづくりをしたい!」と思い、この業界に入りました。

使う工具が重そうで心配... Q4 工具も機械も軽量化が進んでいます!

最近は充電式の工具が主流で、女性でも手軽に持てるようになりました。おかげで作業の効率化も進んでいます。ヘルメットや保護具なども軽量化が進み、多機能なものに進化。安全性にもこだわっています。



佐藤正恵
株式会社佐藤建設工業(関東支部)
土木(一般土木・重機土工)・建設業界歴20年



Q5 知識がないけど大丈夫? 未経験こそ仕事にやりがいもてます!

私自身、未経験で知識もなく、友達に誘われてこの業界に入りました(笑)。わからないことがあると、上司や同僚が丁寧に教えてくれます。新しいことを学ぶのは新鮮だし、できるようになれば楽しい。認められて、任されるようになると、もっと頑張ろうと思う。それが仕事のやりがいにつながっています。

休日にはちゃんとある? Q6 もちろん! 楽しんでます!

おいしいものを食べに行ったり、お出かけしたり。最近、ダイエットも兼ねてウォーキングやランニングも。筋トレにも目覚めました(笑)。オフを楽しむことで、また仕事を頑張ろうって思えるんです。



萩谷加代子
株式会社大平(関東支部)
鉄筋工・建設業界歴3年



仕事はホントに楽しい? Q8 はい! 楽しく仕事してます!

仕事ですから、時には大変なことはあります。でも、やり遂げたときの達成感は何にも代え難い!「よく頑張った!」と自分で自分を褒めたいです。それが新たな仕事にチャレンジするモチベーションになっています。

Q7 仕事で困ったときはどうしてる? 上司や仲間に相談しています!

一人で抱え込まず、一緒に働く仲間に話したり、上司に相談したり。そもそも私たちの仕事はチームプレーで行うもの。例えば、やむを得ない事情で誰かが休めば、みんなでカバーして作業を行います。休んだ人は次に出社したときにその分頑張る。みんなで協力し合うので、自然と協調性も生まれます。

今西留美
株式会社大平(関東支部)
鉄筋工・建設業界歴10年



Q9 建設業は力仕事ばかり? 女性が活躍できる仕事もいろいろあります!

工事が円滑に進むように、いろんな人とコミュニケーションをとりながら計画して指示を出し、施工状況をチェックする。そんな施工管理の仕事は女性のほうが長けているんじゃないかな。建設業界は力仕事ばかりじゃない!女性が活躍できる仕事はいろいろあります。

チャレンジしてみようかな? Q10 若い皆さんを待ってます!

建設業は今まさにIT化が進み、新たなステージへと向かっています。だからこそ、若い皆さんから新しいアイデアをいただきたい。それを取り入れながら、ますます前進していきたいと考えています。ぜひこの業界と一緒に働いてみませんか。



山本陽子
山本建設株式会社(関東支部)
土木(土木・土工・舗装・水道)・建設業界歴30年





全国の TEAM-Z 前友会

